

機能要件一覧表

項目	No	要件	重要度
全体の管理機能	1	管理者において、文字数・トークン等の利用状況が把握できること。	必須
	2	利用上限に達した場合、ユーザーに利用制限がかかり追加費用が発生しないこと。	必須
	3	利用文字数や同時接続数が上限に達し、ユーザーに利用制限がかかった場合でも過去の会話履歴が閲覧できること。	必須
	4	管理者において、ユーザー利用状況や入出力内容についてCSVなどで出力できること。	必須
	5	管理者において、独自データのアップロード状況(アカウントごとのファイル数や容量)を把握できること。	
ユーザーの管理	6	メールアドレス又は職員番号等の個人を識別する情報とパスワードにより、利用可能な個人を認証できること。	必須
	7	ユーザー登録は、サービス画面上での個別登録のほか、CSVファイル等のアップロードによる一括登録ができること。 なお、一括登録でエラーが生じた場合は、エラー内容が表示できること。	必須
	8	パスワードが分からなくなった時に、ユーザーで再設定ができること。	
	9	ユーザーのメールアドレスに登録アカウントの招待リンクを一括送付できること。	
	10	登録されているユーザー情報をCSVファイル等で出力できること。	
	11	ユーザーの削除、またはアカウントの無効化が個別又は一括でできること。	
	12	ユーザーを所属単位などでグループに分けることができること。	
生成AIサービスの機能	13	生成AIサービスで生成AIに質問をして、回答を得ることができること。生成AIへの質問は、プロンプトテンプレートを用いて行う他、ユーザー自らがプロンプトを入力して行うことができること。	必須
	14	各ユーザーが1回あたり6,000文字程度をプロンプトやテンプレートを用いた質問で入力できること	必須
	15	会話履歴を引き継いで質問をするか引き継がずに質問するかを、会話の都度、ユーザーが選択して利用できること。	必須
	16	過去の会話履歴をいくつまで参照するか、管理者側で設定ができること。	
	17	生成AIとの会話履歴は一定期間(最低でも3ヶ月間)は保持されること。	
	18	同時接続数に制限がある場合、一定時間操作をしていないアカウントに対して、接続を自動で解除することができること。	必須
	19	他アカウントのユーザーは生成AIの会話履歴を閲覧できないこと。	必須
	20	会話内容のテキストコピーができること。	
	21	複数の大規模言語モデルを利用することができること。	
プロンプトテンプレート	22	サービス提供時点から、自治体業務に特化したプロンプトテンプレートが利用できること。	必須
	23	プロンプトテンプレートは利用目的に応じてカテゴリ分けされていること	
	24	管理者において、ユーザー全員で利用できるプロンプトテンプレートの新規作成・修正・削除ができること。	必須
	25	ユーザーにおいて、ユーザー個人若しくは所属するグループ内で利用可能なプロンプトテンプレートの新規作成・修正・削除ができること。	
	26	サービス提供者から、サービス提供開始後もプロンプトテンプレートの追加・修正が行われること。	必須
RAG機能	27	本市が有する独自データ等のファイルをシステムにアップロードできること。	必須
	28	システムにアップロードする独自データは、フォルダやファイル単位で公開範囲(個人のみ、グループのみや全員など)を指定することができること。	必須
	29	アップロードした独自データは、登録したユーザーが削除できるとともに、管理者から削除することも可能であること。	必須
	30	独自データ内のテキストを基に、回答の生成ができること。	必須
	31	独自データ内の表を基に、回答の生成ができること。	
	32	回答を生成する際に根拠とした独自データのファイル名称、記載ページ数などの参照箇所が明示できること。	

機能要件一覧表

項目	No	要件	重要度
	33	Word、PDF、Textファイルが登録できること。	必須
	34	Excel、CSV、PowerPointファイルが登録できること。	
	35	独自データのアップロードは、100GBまでは追加料金を支払うことなく可能であること。	必須
	36	独自データをアップロードするファイル数に制限が無いこと。	
	37	独自データの登録時に、文字数・トークン等が消費されないこと。	必須
セキュリティ(送信禁止とする情報など)	38	管理者において、プロンプトとして送信させない情報を種類ごと(氏名や電話番号、メールアドレスなど)に設定できること。	必須
	39	送信禁止とした情報がプロンプトに含まれた場合、利用者がどの文言が禁止となったのか把握できること。	
	40	禁止ワード設定について、送信させない、注意喚起のメッセージのみを出すなど、対応が選択できること。	